

NPO 法人のための簿記講座 入門基礎（第2回力試し演習問題）

問1 次の()に、適切な金額を入れなさい

- ① A法人の貸借対照表は、現金 50,000 円、普通預金3,200,000 円、車両運搬具 2,000,000 円、仮払金 10,000 円、立替金 15,000 円、前受金 30,000 円、預り金 60,000 円、長期借入金 1,600,000 円であることから、正味財産は、()円である
- ② B法人の活動計算書は、収益合計、6,000,000 円、費用合計 6,820,000 円であることから、当期正味財産増減額は、()円である
- ③ M法人の前期末の貸借対照表の正味財産は 1,250,000 円であり、活動計算書の当期正味財産増減額が 1,000,000 円である。当期末の貸借対照表の資産が4,000,000 円の場合、負債の金額は()円である

問2 次の取引の仕訳を解答欄に記入しなさい。なお、勘定科目は一覧表から最も適切なものを選ぶこと(複数回使用可能)また、事業名は不要とする

支払利息・受取利息・受講料・立替金・通信運搬費・支払手数料・普通預金・現金・給料手当
預り金-源泉所得税・租税公課・受取寄付金・旅費交通費・預り金-社会保険料・前受金・前払金・
短期貸付金・短期借入金・地代家賃・長期貸付金・長期借入金・諸謝金

- ① 事務所の家賃(月 100,000 円)を今月分及び次期の合計 2 か月分を普通預金から振り込んだ
- ② 次期になり、前記①の事務所の家賃の前払い金を振り替えた
- ③ 次期開催のセミナー(@2,000 円)の受講料 10 名分が普通預金に振込まれた
- ④ 前記③のセミナーの受講料 10 名分を普通預金から現金を下ろした
- ⑤ 切手(@84 円)を購入した際に、スタッフAが個人的に使用するための切手 5 枚を含めて 25 枚分を現金で支払った
- ⑥ スタッフAから前記⑤の切手代金を現金で受け取った
- ⑦ 給料 200,000 円から源泉所得税 6,000 円と社会保険料 15,000 円を控除した残額を普通預金から振り込んだ
- ⑧ 講師謝金 50,000 円を支払う際、源泉所得税 5,105 円を控除して残金を現金で支払った
- ⑨ 前記⑧の源泉所得税 5,105 円を普通預金から納付した

- ⑩ 本日 9/1、銀行より 36,500,000 円の融資を受け、普通預金に振込まれた(返済期限は 3 年後 8 月 31 日、利息は年率2%の日割り計算で円未満切り捨て、決算日は3/31)
- ⑪ 9/30、前記⑩の融資返済で元金 150,000 円と本日までの利息が合わせて普通預金から引落された
- ⑫ 本日 10/1 理事長より運営資金として 3,000,000 円を借り受け普通預金に振込みを受けた(返済期限は同年 12 月 30 日、利息は無し)
- ⑬ 12/30、前記⑫で理事長から借りていた 3,000,000 円を普通預金から返済した
- ⑭ 8/1 やむを得ない事情によりスタッフBに 100,000 円を現金で貸し付けた(回収期限は 2 か月後の 9 月 30 日)
- ⑮ 9/30 スタッフBより前記⑭で貸し付けていた 100,000 円現金で回収した

解答欄

問1

①	②	③
---	---	---

問2

	借方科目	金額	貸方科目	金額
①				
②				
③				
④				
⑤				
⑥				

	借方科目	金額	貸方科目	金額
⑦				
⑧				
⑨				
⑩				
⑪				
⑫				
⑬				
⑭				
⑮				